

ビフィドバクテリウム・ロンガム由来のN-アセチルヘキソサミン1-キナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1481

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 N-アセチルヘキソサミン 1-キナーゼ (EC 2.7.1.162, NahK, LnpB, N-アセチルガラクトサミン/N-アセチルグルコサミン 1-キナーゼ) は、系統名 ATP:N-アセチル-D-ヘキソサミン 1-ホスホトランスフェラーゼを持つ酵素です。この酵素は次の化学反応を触媒します: $\text{ATP} + \text{N-アセチル-D-ヘキソサミン} \rightarrow \text{ADP} + \text{N-アセチル-}\alpha\text{-D-ヘキソサミン 1-リン酸}$ 。この酵素は、プロバイオティクス細菌ビフィドバクテリウム・ロンガムにおけるラクト-N-パイオス II/ガラクト-N-パイオス分解経路に関与しています。

別名 EC 2.7.1.162; NahK; LnpB; N-アセチルガラクトサミン/N-アセチルグルコサミン 1-キナーゼ; ATP:N-アセチル-D-ヘキソサミン 1-ホスホトランスフェラーゼ

製品情報

種	ビフィドバクテリウム・ロンガム
由来	大腸菌
EC番号	EC 2.7.1.162
分子量	40 kDa
純度	SDS-PAGEによる最小95%
単位定義	1ユニットは、37°CでGlcNAcとATPから1μmolのGlcNAc-1-Pを生成する反応を触媒する酵素の量として定義されます。